

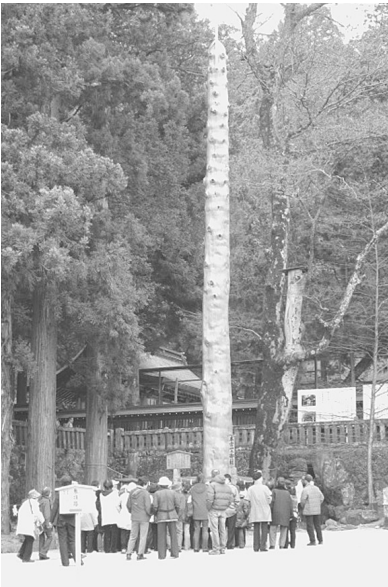


2号車のみなさん

# 秋のバス旅行！ 安曇野・大町への旅



1号車のみなさん



諏訪大社の御柱

11月27日(日)から1泊2日で安曇野方面にバス2台、総勢71人でバス旅行に行きました。首都高速道路から中央自動車道を西に向かつてすすんでいくと、山梨県に入ったあたりから富士山や南アルプスが美しい姿を見せてくれます。長野自動車道に入り、めざす北アルプスの山々がどんどん迫ってくる。最初の目的地「いわさきちひろ安曇野美術館」への期待がふくらみます。ちひろのやさしい絵画と世界の絵本、企画展示の香月泰男の作品はもちろん素晴らしいのですが、北アルプスと落ち着いた雰囲気、建物の織りなす風景もまた心を癒してくれました。

夕食時には西品川のみなさんのパフォーマンスやカラオケでおおいに盛り上がり、最後はみんなで輪になって品川章頭を踊りました。

翌日は、遠くの山にかかる霞を見ながら、大王わさび農園と諏訪大社上社本宮に寄り、たっぷりとお土産を買いました。わさび農園内を流れる川の水はとても澄んでいて日本の原風景にふれた思いでした。諏訪大社の御柱の実物をはじめて見て、そのみごとに圧迫されました。今回の旅行では、景色のすばらしさという、夕食時の宴会の楽しさという、ホテルの豪華さという、笑いあり感動あり出会いありで、どれをとっても一生の思い出に残る素晴らしい旅でした。（参加者より）

わさび園と御柱



ちひろ美術館へ



大王わさび農園

支援のあり方

この中で、全国から多くのボランティアが支援に来てくれるのはとてもうれしいし、助かるけれど、受け入れる側にとって負担になる場合もある。支援に行く側は、3日〜1週間くらいなので、とても元気がありませんが、受け入れる自分たちは震災当日からの疲労やストレスがたまっていて、来る人来る人に毎回同じ説明をしなければならず、それが負担となってしまうことでした。

大震災後のあらたな「きずな」

東京都生協連医療部会  
2011年組合員活動交流集会

12月10日(土)、中野の東京都生協連会館で行われました。まず「東日本大震災の被災状況と復興へのとりくみ」として、宮城県・松島町医療生協専務理事の青井克夫さんの特別講演からはじまりました。

城南3法人仲間増やし月間報告

城南3法人（城南福祉医療協会、城南保健生協、城南医薬保健協働）では、毎年10月～12月を「仲間増やし月間」と位置づけ、城南保健生協の組合員を増やしています。

城南保健生協の組合員は、現在約21,000世帯です。組合員になることで、毎月3法人のとりくみが掲載された機関紙「城南の保健」が届く他、健康診断や骨密度測定が組合員価格で受けられたり、血圧測定会や健康チェック、学習会、ハイキング、歩こう会、旅行会などの健康イベントにも参加でき、健康への意識が高まり、保健予防活動につながります。

また、イザの時には城南福祉医療協会の事業所を利用していただくことにもつながっています。そして、組合員さんは事業所を支え、職員と一緒に地域に根づいたとりくみも旺盛に行っています。資金面でも、1億円を超えるMRI募金・基金にご協力いただき導入することができました。今年の月間の到達をお知らせします。

- ・10月 77世帯の仲間増やし
- ・11月 105世帯の仲間増やし
- ・12月 35世帯の仲間増やし（12月15日現在）

※4月～12月までの累計は314世帯  
※「いつでも元気」の購読者は9人増えました。  
※大腸ガン検査は664人の方に受けていただきました。

◎12月16日をもって月間は終了しますが、引き続き年間目標（700世帯の仲間増やし）をめざして、ご一緒に声かけをお願いいたします。（本部・横山）

失われる縁

最後に「無縁社会からきずな社会へ」として、NHKの板垣淑子さんの記念講演がありました。講演では、現代ではこれまでの日本にあった3つの縁（家族の縁・地縁・社縁）が失われ、

支援のあり方を考えさせられるお話でした。そして、支援することの難しさも改めて感じました。すぐに支援しなければならぬこと、現地の状況がわからなから、被災地の方々が本当に必要なことをきちんと把握し確認したうえで、支援することが大切なのだと思います。

この後、4生協からの活動報告で、城南保健生協はゆたかの家から「地域の絆を深める場として13年」の報告がありました（報告は豊支部の古口昭代さん）。

今回の組合員活動交流集会は、3月12日に行われる予定でした。しかし、その前日の東日本大震災で延期となりました。予定されていた規模での開催ではありませんでしたが、120人の参加で、どの講演・報告も充実しており、意義のある交流会になったと感じました。

ゆたかの家から報告をしました

『薬剤師 急募中！ 薬剤師さんをご紹介ください』

地域医療をまもる薬局

(URL) <http://jyounaniyaku.co.jp/>

(株) 城南医薬保健協働

(メール) [jyounaniyaku@mte.biglobe.ne.jp](mailto:jyounaniyaku@mte.biglobe.ne.jp)

|             |           |               |                               |
|-------------|-----------|---------------|-------------------------------|
| 本 部         | 〒143-0012 | 大田区大森東3-9-18  | tel.3298-2421 / fax.3298-2422 |
| 大 森 薬 局     | 〒143-0014 | 大田区大森中1-22-1  | tel.3298-4901 / fax.3298-4904 |
| み つ ぎ 薬 局   | 〒141-0033 | 品川区西品川2-6-4   | tel.3493-1493 / fax.5434-8747 |
| う の き 薬 局   | 〒146-0091 | 大田区鶴の木2-2-9   | tel.5482-8931 / fax.5482-8933 |
| 目 黒 本 町 薬 局 | 〒152-0002 | 目黒区目黒本町6-6-5  | tel.5720-5048 / fax.5720-5049 |
| 東六郷1丁目薬局    | 〒144-0046 | 大田区東六郷1-24-16 | tel.5714-4193 / fax.5714-4194 |
| 上目黒4丁目薬局    | 〒153-0051 | 目黒区上目黒4-21-9  | tel.5724-4193 / fax.5724-4198 |
| 介護ショップらくだ   | 〒143-0012 | 大田区大森東3-9-18  | tel.5762-8568 / fax.5762-8569 |
| 福祉タクシーらくだ   |           |               |                               |
| 本社営業所       | 〒143-0012 | 大田区大森東3-9-18  | tel.3763-0204 / fax.5762-8569 |
| 久が原営業所      | 〒146-0081 | 大田区仲池上2-30-16 | tel.5747-3870 / fax.5747-3871 |

福祉タクシー らくだ

タクシー運賃・料金は普通タクシーと同じ初乗運賃710円です。福祉タクシー「らくだ」は、車いすに乗ったまま、安全運転でお送りいたします。付き添いの方も3人までお乗りいただけます。

寝台車両の運賃は国土交通省認可料金です。

(各営業所へお問い合わせください)

営業時間 午前7時～午後7時  
受 付 午前9時～午後5時  
年中無休

本 社 営 業 所  
TEL 3763-0204 FAX 5762-8569

久が原営業所  
TEL 5747-3870 FAX 5747-3871